

あゆみ坂

校訓／教育目標
誠実 明朗 協調 勇気

自立心と感謝の心を持ち、
進んで他者や社会に貢献する生徒の育成
～笑顔の登校・感謝の下校～

宇城市立小川中学校
令和7年度第36号
(3.25)
文責 岩田 雅子

志を立てる



やりたいことがあれば、「志」を立てる
ことはできる……「志」の理由が重要だ

それは

『自分のため』か 『誰のため』か 『世の中のため』か
理由が「自分の欲望を満たすため」だったら

他者から応援されないだろう

理由が「誰かのため」だったら

その人から応援されるだろう

理由が「多くの人のため」だったら

たくさんの人から応援されるはずだ

他者から応援される『志』をもったら、どんどん道は開ける

未来を生きる皆さんへ

自分のやりたいこと・夢がふくらんできていることと思います。夢に向けて「情熱を持って取り組んでほしい」と思うと同時に、その夢の向こうには、家族、ふるさと、日本、地球の未来も一緒に考えてほしいと思います。世界の情勢や地球の資源、環境は年々深刻になっています。みなさんが生きる50年後の社会はどうなっていくのかをしっかりと予測し行動を起こしてほしいと思います。

映画は、最後のシーンをイメージしてから創っていくそうです。スポーツも同じです。どのレベルまで強くなるのかを最初に考えて練習をしていきます。私たちは、20年後50年後の地球や自分をイメージしながら生きていくことが大切だと思います。途中には失敗もあれば、不本意なこともあり、回り道をする事もあると思います。最後にやっと自分の思い描いた未来に到達する。そういった波乱万丈の人生こそ価値があるものだと思います……。

今からおおよそ半世紀以上前の高度成長期、日本は新幹線や高速道路が整備され、家電(テレビ・洗濯機・冷蔵庫)が普及し人々の暮らしが豊かになっていきました。しかし、その一方で、騒音や大気汚染川や海の汚れといった環境問題が深刻化しました。こうした状況を変えようと世界中が動き出しましたが、地球温暖化問題は今なお歯止めがかかっていません。だからこそ、「鳥の目」「虫の目」「魚の目」をもち、一人一人が何をすべきか考え行動することが大切です。

鳥の目……高いところから全体を見る目のこと、地球規模で見る目をもつ

虫の目……視野を広く、いろんな角度から見る目をもつ

魚の目……流れを見る目のこと、過去から現在、未来を見る目をもつ

